

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。亡くなられたご家族の方の検体を下記の研究に用いられたくない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 神経変性疾患の発症、進行機構の解明

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 佐野輝典

(2020年4月より、研究責任者が齊藤祐子から佐野輝典に変更になりました。)

【本研究の目的及び意義】

アルツハイマー病やパーキンソン病などの神経変性疾患の発症の原因はいまだに明らかになっていませんが、脳内でおこる正常とは異なる現象を様々な手法を用いて調べることにより、その手がかりが得られると考えられます。本研究では、患者さんの脳に発現するタンパク質や、脳内に蓄積している正常の人の脳にはない異常なタンパク質を調べることにより、発症のメカニズムを明らかにします。また、患者さんの脳にたまる異常なタンパク質を細胞や動物の脳に導入することにより、新しい疾患のモデルを作成し、治療薬、治療法の開発に利用できるようにすることを目指します。解析方法の一つであるクライオ EM による構造解析は優れた解析技術を持つ英国 MRC で行われます。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2009年4月以降に国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、剖検検体の保管および研究使

作成年月日：2020年 7月 15日 第4版

用に関して同意された方のうち、死後の病理診断により以下の疾患であると判定された方。

PD（パーキンソン病）、PSP（進行性核上性麻痺）、CBD（大脳皮質基底核変性症）、FTLD（前頭側頭葉変性症）、MSA（多系統萎縮症）、ALS（筋萎縮性側索硬化症）

利用する試料・情報等

試料：凍結組織（脳・脊髄）

情報等：年齢、性、臨床診断名、死後時間、病理診断名、病理解析結果など

研究期間

2019年11月22日から2021年3月31日まで

【共同研究機関】

東京都医学総合研究所 研究責任者 長谷川成人（研究代表者）

MRC Laboratory of Molecular Biology (英国) 研究責任者 Michel Goedert・

2020年7月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 臨床検査部 病理検査室 氏名 齊藤祐子, 佐野輝典

電話番号 042-341-2711（代表）

作成年月日：2020年 7月 15日 第4版

e-mail：yukosm※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail：ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）